



イベント 終了しました

【満員御礼受付終了】新潮講座スペシャル 梅原猛が解き明かす親鸞「四つの謎」

キーワード	日比谷カレッジ
内容	<p>齢九十となって見えてきた、“人間・親鸞”の真の姿</p> <p>日本最大の仏教宗派である浄土真宗、その寺院数は2万2,000ヶ寺にも上るといわれています。いわずと知れたその開祖・親鸞について、幅広い独自の視野から幾多の日本文化の深層を解き明かしてきた梅原猛氏が、定説を覆し真の人物像に迫ります。</p> <p>仏教の最大のタブー「不邪淫戒」を破り妻帯を認めたのはなぜか、「悪人正機説」が生まれてくるほど悪の自覚に苛まれたのはなぜか、死を前にしてあえて肉親への拘りを強めたのはなぜか、そして晩年に至った真の悟り「等正覚」の境地とは……中学生で手にした『歎異抄』以来『教行信証』などの著書を読み込み、そして今、聖人が亡くなったのと同じ齢九十となって初めて理解しえてきた人間親鸞の思いを語ります。</p>

日にち	2014年12月13日（土） 13:30から14:30
日にち説明	当日の受付開始 13:00～
場所	地下1階 コンベンションホール（大ホール）
関連ファイル	141213新潮講座スペシャル 梅原猛が解き明かす親鸞「四つの謎」チラシ
定員	200名（申込順）
参加費用	3,000円

講師・出演者	梅原猛（哲学者）
プロフィール	<p>■梅原 猛（うめはら たけし） 1925（大正14）年、宮城県生れ。京都大学哲学科卒。立命館大学教授、京都市立芸術大学学長、国際日本文化研究センター所長等を歴任。1992（平成4）年、文化功労者。1999（平成11）年、文化勲章受賞。主著に『隠された十字架—法隆寺論—』（毎日出版文化賞）、『水底の歌—柿本人麿論—』（大沸次郎賞）、『京都発見 一～九』『葬られた王朝—古代出雲の謎を解く—』（以上、新潮社）、『人類哲学序説』（岩波新書）、『うつぼ舟Ⅴ 元雅の悲劇』（角川学芸出版）等。縄文時代から近代までを視野におさめ、文学・歴史・宗教等を包括して日本文化の深層を解明する幾多の論考は<梅原日本学>と呼ばれる。</p>

主催	新潮講座
共催	千代田区立日比谷図書文化館

問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館（03-3502-3340）
申込期間	2014年08月18日 10:00 から2014年12月13日 13:30
申込方法	電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）、来館（1階受付）いずれかにて、①講座名(または講演会名)、②お名前（よみがな）、③電話番号をご連絡ください。

カレンダー表示 <input type="checkbox"/> イベント開催日 <input type="checkbox"/> 休館日	2014年 12月						
	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20

	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

発信日	2014.08.18
-----	------------

 印刷

 リストに追加

[ツイート](#)